



げんきな子 がんばる子 やさしい子

園だより

10月号

北区立さくらだこども園

園長 西澤 尚子

自分の楽しいを応援してもらう、うれしさ

10月を目前にして、ようやく朝夕の風が心地よく感じられるようになりました。気温とは別に季節は進んでいるようで、草木の辺りからは秋の虫の音がちゃんと聞こえてきていました。

戸外遊びも楽しめるようになってきたので、子どもたちはかけっこやリレー、宝取りや自分たちで運動遊具を組み合わせて作ったアスレチックに玉入れ、サッカーごっこなど、園庭でいろいろな遊びをしています。

5歳児はリレーをしています。リレーとはいっても、初めは一緒に隣を走る友達との競争です。回を重ねる中で、チームで勝つために自分の力を精一杯発揮する、という気持ちが育っていったほしいと願って取り入れています。一人一人の走り方は回を重ねるごとに変わってきています。腕の振りが大きく、走る際の歩幅が広くなったり、コーナーをラインぎりぎりですピードに乗ったまま走り抜けるようになってきたり、それぞれにより速く走りたいと願う気持ちが見て取れます。自分の力を精一杯出そうとする中で、体の動きが自然に変わっていているように思います。

ほし組のテラスに玉入れ台と玉が置いてあると、見付けた何人かの4歳児が遊び始めます。初めのうちはなかなかかごに入らないのですが、たまに入るうれしさと、それを見ている教師が投げ方のよさを言葉で伝えることで、繰り返し玉を投げ続け、入る確率が徐々に上がっていきます。どう投げると入るのかの手応えを感じて着々とかごに玉を投げ入れる様子には、自信と意欲が感じられました。

幼児期に体を動かす遊びを楽しめると、生涯にわたって運動やスポーツを楽しめるようになります。体を動かすことが楽しいと思えるので、したくなるからです。体が動くといろいろなことにチャレンジする気持ちも湧いてきます。

さくらだこども園では、10月に運動会を実施します。5歳児が「家族に見てほしい」「ほし組、にじ組と一緒にしたい」と思って取り組む運動会です。体を動かす楽しさと、自分の力を発揮したいという意欲と、大好きな人と一緒にのうれしさでつくる運動会です。保護者・地域の皆様に、暖かく見守っていただき、また多くの声援をいただけると子どもたちは運動会での体験を心に刻み、体を動かすことを楽しめる人に育っていくものと思います。どうぞ今年の運動会を一緒に楽しみ、応援していただければと思います。

さくらだこども園の運動会には、地域で子どもたちを見守ってくれている方々にもご案内を出しています。地域で育つ子どもたちの成長の姿と一緒に喜んでいただき、子どもたちが安心して生活できるつながりをもっていきたいと考えています。



—今月の指導のめあて—

- 〈4歳児〉
 - ・教師や友達と一緒に伸び伸びと体を動かしたり、自分のしたいことを繰り返し楽しんだりする。
 - ・学年や学級のもんで活動することを楽しむ中で、運動会を楽しみにする。
 - ・葉や木の実など、園庭の自然に触れ、季節の変化を感じたり、遊びに取り入れたりする。
- 〈5歳児〉
 - ・自分がしたいことや興味をもったことに向かって、これまでの経験から考えたり調べたりする。
 - ・伸び伸びと体を動かしたり、自分の力を発揮したりするうれしさや楽しさを味わう。
 - ・共通の目的に向かって、友達と力を合わせて取り組んだり競い合ったりする中で、満足感や充実感を味わう。